

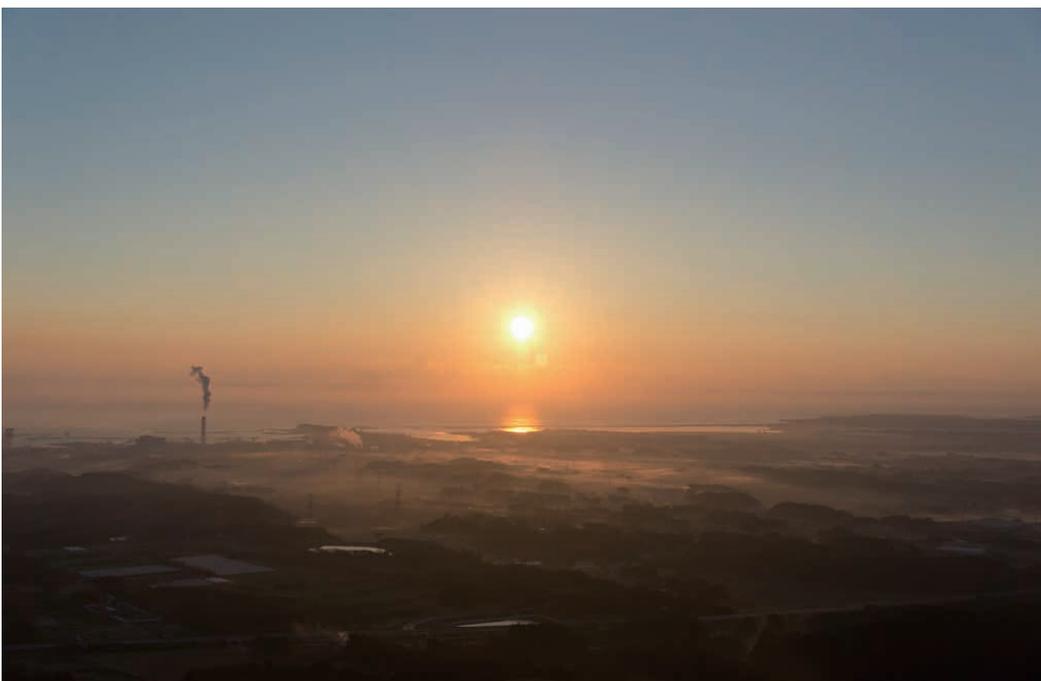
県酪だより

K E N R A K U D A Y O R I

2019

1

vol.253



年頭の挨拶

福島県酪農業協同組合

代表理事組合長

宗 像 実



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

日頃、組合事業にご支援・ご協力を頂いておりますことに対して、厚くお礼申し上げます。

昨年は、北海道の長雨や都府県を中心とした猛暑に加え、七月の西日本豪雨、北海道胆振東部地震、台風二十一号・二十四号の相次ぐ列島縦断などの大規模な自然災害が相次いで発生しました。

幸いにも福島県に於いては大きな被害はありませんでしたが、被害に遭われた地域の皆様には心よりお見舞い申し上げます。

さて、東日本大震災並びに東京電力福島原子力発電所事故からすでに七年十カ月が経過しましたが、本組合の四十九戸の酪農家は未だ酪農再開には至っておりません。

帰還困難地域を除く避難指示区域の解除が進み、農作物の作付や出荷の制限も大幅に緩和されてきました。が、住民の帰還は進まず、高齢化も著しい中、農業の担い手や労働力の確保は難しい状況となっております。休業酪農家の再開への意欲も徐々に低下しています。

また、生乳の放射性物質検査や自給飼料のモニタリング検査などが継続されており、生乳生産に大きな影響を及ぼしています。

この様な中で、復興牧場「株式会社社フェリスラテ」の経営は四年目となり、順調に経過しております。

南相馬市に新たな復興牧場を建設する計画については、建設候補地選定の最終段階となっております。事業実現に向け邁進しておりますが、組合員の皆様方をはじめ、行政・関係機関各位のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

世界では、TPP11協定は参加十一カ国のうち、七カ国が国内手続きを終え、平成三十年十二月三十日に発効することとなりました。

また、EUとの経済連携協定も国会で承認され、今年二月には発効することとなっております。

一方、日米TAG（日米物品貿易協定）交渉も控えており、これらに

よるチーズをはじめとする乳製品の輸入攻勢は酪農乳業界には大きな打撃となることが予測されます。

国内では、平成三十年四月から新たにスタートした、加工原料乳補給金制度の下、九十二事業者に平成三十年度加工原料乳生産者補給金の交付対象数量三二八万トンが配分されました。

生産者間の公平性や効率的な集送乳の観点から懸念されていた、二股出荷や新たな事業者の参入といった動きが一部の地域で起きており、指定団体の共販体制を維持強化化することがさらに重要になっていきます。

また、平成三十一年度加工原料乳生産者補給金単価は、現行より八銭値上げ、集送乳調整金は六銭値上げとなり、酪農経営には喜ばしい結果となりました。

本年は、「第七次中期経営三カ年計画」の二年目の年であり、グループ企業である酪王乳牛(株)・(株)らくのう乳販との連携を密にし、将来に亘り組合員の負託に応え得る組織

として積極的に事業を展開する所存であります。

本年も福島県酪農の力強い発展のため、ご指導・ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

新年を迎えて

福島県農林水産部

部長 佐竹 浩



謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

皆様には、日ごろより本県酪農・乳業の振興を通じて、県勢の発展に御尽力いただき、厚く御礼を申し上げます。

また、安全・安心な生乳を生産するため、貴組合員の一人一人が、日ごろより、愛情を込めてきめ細やかな乳用牛の飼養管理をされており、そのためまぬ御努力に心から敬意を表します。

本県酪農については、復興

ますとともに、組合員の皆様にとつて幸多い年であり、新年のご挨拶と致します。



牧場が順調に稼動していることをはじめ、避難を余儀なくされた被災酪農家の営農再開も始まり、避難地域等での営農再開に向けた様々な取り組みが計画・実行され、復興に向けて着実に歩みを進めております。

一方、昨年は、高温・少雨により乳牛や飼料作物に影響が出たことに加え、度重なる集中豪雨や北海道胆振東部地震などの災害に見舞われ、酪農・乳業も甚大な被害を受け、停電への備えなど課題が浮き彫りになりました。

また、昨年末に発効したTPP11や二月に発効する見通しの日欧EPA、日米貿易交

渉の進展等により、乳製品の輸入が増加し、畜産経営への影響が懸念されるなど、酪農を巡る情勢は厳しさを増しており、酪農経営基盤の強化を図ることが極めて重要であると考えております。

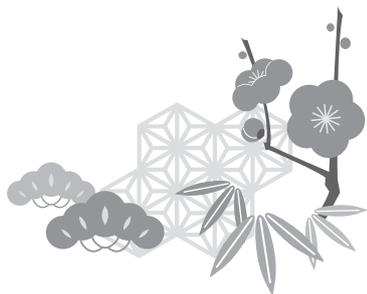
このような中、貴組合におかれましては、高能力乳用雌牛や性別別受精卵の導入に積極的に取り組まれるとともに、生乳の安定供給、酪農や牛乳乳製品への理解醸成活動に努められるなど、生産基盤の回復と経営安定に向けた取組は、本県酪農振興に大きく貢献しております。

また、第四十七回東北酪農青年女性会議酪農発表大会・経営発表の部において、郡山市の遠藤明様が最優秀となる農林水産省東北農政局局長賞を受賞され、東北代表として全国大会に出場し、審査員から高く評価されました。さらには、被災酪農家によつて運営される、福島市のミネロファーム様が第五十九回福島県農業賞(復興・創生特別賞)を受賞されました。両名の活動は、力強い復興を成し遂げ

ていくための道筋を明るく照らし続けており、これまでの御活躍・御尽力に対し、改めて敬意を表します。

県といたしまして、引き続き、施設整備や機械導入の支援、乳用牛の改良や導入、育成牛の自家保留などの施策により酪農生産基盤の強化を支援してまいりますので、皆様の御理解と御協力をお願いします。

結びに、皆様におかれましては、本県酪農の振興に向け、一層の御尽力をお願い申し上げますとともに、今後の益々の御発展と御健勝をお祈りいたしまして、新年のごあいさつといたします。



新年のご挨拶

日本酪農政治連盟福島県支部連合会

会長 佐藤金正



輝かしい平成三十一年の新春にあたり、心から御祝いを申し上げます。

会員の皆様には常日頃から温かい御支援・御理解のもと酪農政治連盟活動に御協力をいただいておりますことに心から御礼を申し上げます。

昨年は北海道胆振東部地震や七月には豪雨・台風災害が相次ぎ各地域で酪農関係でも生乳生産活動に大きな影響と損害が発生いたしました。

また、加工原料乳生産者補給金等暫定措置法が廃止され、「畜産の安定に関する法律」が改正され、昨年四月より施工されました。

平成三十一年度の酪農対策等の政策の実行につきまして



は、政府原案といたしまして、新たな加工原料乳生産者補給金制度に基づく交付単価は一キロあたり十円八十銭とし昨年比で十四銭引き上げで決着いたしました。うち条件不利地域からの集送乳経費を助成する「集送乳調整金」は同二円四十九銭となります。

日本酪農政治連盟としては、十一月十四日に東京の自民党大ホールで「家族型酪農危機突破全国酪農民総決起大会」を開き、営農意欲と担い手確保を促す飲用乳価と補給金単価の実現、頻発する自然災害に対する支援の継続と充実に要請することを決定し、併せてデモ行進をいたしました。

最後になりますが、会員皆様にとりまして、すばらしい一年でありますことを祈念いたしまして新年のご挨拶いたします。

新年を迎えて

全国酪農業協同組合連合会

支所長 白鳥建樹

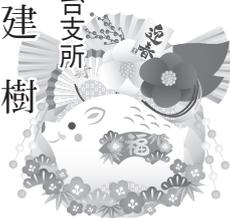


謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

日頃より全酪連の各事業に格段のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて昨年はこれまで酪農政策の基礎となっていた「加工原料乳生産者補給金等暫定措置法」から「改正畜産経営安定法」が施工された初年度となる年でした。酪農乳業界にとっては非常に大きな変化が起こりうる年でもありました。

これまでの指定者団体への販売の全量委託から生乳販売事業者の部分委託が行えることになりましたが、部分委託が拡大することで需給調整の混乱が生じ、結果、酪農家の不利益に繋がることが心配



されましたが、大きな混乱もなく新年を迎えることができずには、各組織と酪農家の皆様が一致団結した成果と言えると思います。

また昨年は日本各地に度重なる自然災害が猛威を振るい多くの傷跡を残した年でもありました。人間の作り出す、科学や技術がこれだけ進歩しても自然の前では本当に無力であることを痛感させられました。マスコミの報道等を通じて、福島県酪農協様や組合員の皆様には八年前に東日本大震災回想されることもあったのではないかと思います。

私は昨年八月に三年ぶりに仙台支所勤務を命ぜられたわけですが、三年の月日の間に復興牧場「株式会社フェリスラテ」の開牧や川俣町山木屋地区と南相馬市の自給飼料の作付け生産を目的としたコントラ組織の誕生など着実に復

興を遂げられる過程を歩んでこられたことに強く感銘いたしました。また、混合飼料工場の製造・供給が終了したことなどは、福島県の酪農の新时代に向け進んでいることを強く感じられずにはいられませんでした。これらの努力に対して心から敬意を表する次第です。

やがて東日本大震災・東電福島原発事故から九年目を目前にして、現在も自給飼料の放射線リスクの管理や生産物・副産物の風評被害等の課題に継続的に取り組む必要もあるかと思いますが、片方で新たな復興牧場も計画されているなど明るい話題も希望も見えています。弊会といたしましても福島県酪農の復興と組合員皆様の持続的経営に向けて、福島県酪農協様また組合員の皆様と共に汗をかき、尚一層の努力を重ねて参る所存です。今後ともご協力頂きますようよろしくお願いいたします。

最後になりますが貴組合と組合員皆様の益々のご発展とご健勝をお祈りいたしまして、新年のご挨拶いたします。

平成
30
年度

第二十九回



ミルキー図画コンクール



● 審査結果発表 ●

館岩小学校（南会津町）、小浜幼稚園（二本松市）を表彰式訪問しました

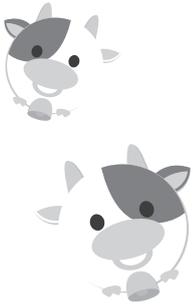
福島県牛乳普及協会主催による第二十九回ミルキー図画コンクールが十一月十六日（金）にコラッセ福島（福島市）で阿部校長先生（御山小学校）を審査委員長に、生沼主任主査（福島県畜産課）、宗像会長（県牛乳普及協会）の三名による審査員で審査会が実施されました。

今年度は、幼稚園・小学校から一四三校二、一六三点（前年一、八四七点）の応募が有り、昨年を三二六点上回る応募状況でした。各部の最優秀作品は以下のとおりです。

区分	学校名	年齢・学年	氏名
幼稚園年少組	二本松市立小浜幼稚園	4歳	渡辺 仁成（わたなべひとなり）
幼稚園年長組	認定こども園慈光第二幼稚園	5歳	穴澤 寧々（あなざわねね）
小学校低学年	南会津町立館岩小学校	2年	阿久津花穂（あくつかほ）
小学校中学年	郡山市立桜小学校	3年	小松 由依（こまつゆい）
小学校高学年	郡山市立守山小学校	5年	米本 薫幸（よねもとかおるこ）

小学校低学年の部最優秀賞を受賞した館岩小学校に十二月十八日（火）、幼稚園年少組の部最優秀賞を受賞した小浜幼稚園に十二月十九日（水）に表敬訪問し、記念品と併せて賞状授与をしました。

今後、郡山市と福島市の二か所での作品展示と、入賞作品を集めた新年度カレンダーを作成し応募頂いた学校に送る予定をしています。



《作品展示期間・場所》

福島市：平成31年2月15日（金）～21日（木）
コラッセふくしま1階アトリウム
郡山市：日程調整中
郡山駅前モルティ



南会津町立館岩小学校にて



二本松市立小浜幼稚園にて



● 幼稚園の部 (年少組) 4歳 渡辺 仁成 ●



● 幼稚園の部 (年長組) 5歳 穴澤 寧々 ●



● 小学校の部 (低学年) 2年 阿久津花穂 ●



● 小学校の部 (中学年) 3年 小松 由依 ●



● 小学校の部 (高学年) 5年 米本 薫幸 ●

県中やまびこ会公研修旅行

県中やまびこ会は十一月八日(木)〜九日(金)、群馬・草津温泉へ行つて参りました。私たちは二十六名を乗せてバスは笑いながら出発!

まず初めに、世界遺産富岡製糸場へ到着。解説員のガイドを聴きながら場内を見学。製糸の技術や当時の女性たちの生き様など、絹産業を通して日本人

の生活や文化を垣間見ることができました。お昼は、本当に食べて欲しい群馬名物、釜飯

ランチを食べ、沿道の売店を物色しながらバスへ戻り、名産のキャベツ畑を眺めながら草津温泉へ。ホテルからシャトルバスに乗り湯畑へ向かい、湯もみショーに期待を寄せて開演までワクワク。観覧前にライトアップされて幻想的な湯畑周辺を自由散策。ホカホカの饅頭を食べたり、焼きたてのつくねを頬張る：これから

われるほど良く効く温泉、私は一回しか入れませんでした(トホホ)。二日目は朝から雨。残念な事にどこもかしこも霧の中。白糸の滝では大勢の観光客の合間を縫って集合写真。弧を描いたような滝全体を撮るには広角レンズが必要でした。次に向かったのが、霧で何も見えない鬼押出し園。立派な溶岩を眺めるどころか、つまずかないように目の前を進むので精一杯。ですが、六十周年で御開帳された観音様と綱一つで手をつないで「ご利益あるぞ!」と確信しながら戻ってきました。昼食は群馬の郷土料理とつちやなげ御膳(すいとん汁)をいただきました。きのこづくしで美味しかったです。最後はこんにやくパーク、さつきお昼食へたばかりなのに、それでもいけちゃう!こんなにやく食べ放題(笑)。



豪華な夕食だといふのに：(汗)。湯もみショーを楽しんだ後はお待ちかねの大宴会♪美味しいお酒に豪華なお膳、カラオケも歌って、気分上々。そして、医者様でも草津の湯でも恋の病は治りやせぬよ」と言



無駄にお腹を満たされ帰りのバスは眠るはずが、BG M代わりに流された釣りバカにはまり大笑い。テンション上がりっ放しで帰ってきました。普段私達は子育て、介護、時には一家の大黒柱となり、日々奮闘しています。今回、留守中頑張ってくれた家族、作業を掛け持ちしてくださったヘルパーさんのおかげでいいリフレッシュとなりました。本当にありがとうございました。(県中やまびこ会会長 福田 祐子)

乳和食セミナー 開催

主催：福島県牛乳普及協会 共催：県酪婦人部やまびこ会



「食生活から見直す

アンチエイジング」

講師：小山 浩子先生

福島県牛乳普及協会主催、県酪婦人部やまびこ会共催、十二月六日(木)に福島県農業総合センターにて前回同様、乳和食の第一人者小山浩子先生をお迎えし、「食生活から見直すアンチエイジング」と題し、美容と健康のために牛乳を使った「乳和食」で減塩対策に關するセミナーを開催いたしました。今回は一般のお客様、やまびこ会会員、食生活改善推進員からの申し込みも多く、一四〇名を超える開催規模でした。はじめに宗像会長から牛乳普及協会で行っ



ている活動内容や牛乳・乳業に關する概況などとともにご挨拶を申し上げます。続きまして県酪婦人部やまびこ会会長福田祐子より、アンチエイジングは食事を通して綺麗に年を取っていきける上に、酪農家にとっては、牛乳を使って料理を広めていく事が消費拡大につながるのでは、一石三鳥になるのではないかと挨拶を申し上げます、開会となりました。

第一部は小山先生と司会者によるトークショーでした。NHKのきょうの料理にも推奨してきた乳和食スタイルの味噌汁が掲載されました。乳和食が本当に高血圧を改善するには一番いいという事だそうです。また、赤ちゃんの頃の塩分の摂取量が血圧を上げている



そうです。減塩は、家族でお子さんと一緒に取り組んでいく事が家族の健康が守られます。「アンチエイジング」は、塩分のコントロールから血管や脳を若く保つ事が出来、血管の管理があらゆる生活習慣病を予防していくそうです。そして、塩を取りすぎないように引き算も大事なようです。更に、昨年亡くなられた西條秀樹さんとの乳和食の話もして頂きました。高血圧は自分で努力すれば改善出来、減塩をして血圧を下げられたそうです。最後に、「朝ごはん塩分ゼロ生活」を紹介して下さいました。全国に唯一「乳和食レストラン」が福岡県太宰府近くの牧場の中にあります。永利牛乳メーカーさんが三年前にオープンさせました。是非、二つ目は福岡県の皆さんにと。その他にも、牛乳って甘味、コク、うま味があるので和食に水かわりにミルクを使っていくと当然減塩になるなどを丁寧にご説明いただきました。

第二部では、「ホエイご飯」「魚のチーズ焼き」「切り干し大根の煮物」の三種類の実演で、牛乳を



使った調理のコツや美味しく作る秘訣を織り

交ぜながら、さすがの手さばきと見た目も美しい料理を目でも楽しませていただきました。事前に発注して参加者分の試食品もご用意しており、参加の皆さんも「血糖値が気になっていたので、これから作りたい」「美味しくできてびっくり!」「魚の生臭さがきえていい」などの感想を頂きました。

会場では、小山浩子先生の五年ぶりの新刊「やさしい、おいしい、はじめよう乳和食」の書籍販売も行い、準備した三十冊が全て完売となりました。



- ホエイご飯
- 魚のチーズ焼き
- 切り干し大根の煮物



日本酪農政治連盟
福島県支部連合会

「家族型酪農危機突破！ 全国酪農民総決起大会」 開催される！！



日本酪農政治連盟では平成三十年十一月十四日(水)に自由民主党本部において「家族型酪農危機突破！全国酪農民総決起大会」が各都道府県酪農組織から七〇〇名の参加で開催されました。本県からも福島県支部連合会として佐藤金正会長ほか役員二十五名が参加しました。

決起大会では、乳価の増嵩、副産物の相場高騰により直近の短期的収支は悪くないものの、長期的なスパンでは、燃料の高騰、飼料・初妊牛価格の高止まり等により財務内容が不十分で再投資が困難なこと、また新たな補給金制度の行方や自由貿易拡大進行の影響に対する将来不安や、近年頻発している自然災害が廃業

要因とならないか懸念されることから、酪農経営安定・生産基盤強化対策として

- ① 新たな補給金制度の確かな運用、補給金単価の適正な決定。
- ② 頻発する自然災害（地震、台風・猛暑等）対策として、自家発電機、暑熱対策用設備等に対する支援対策の継続と拡充。
- ③ 自由貿易拡大に伴う国内支援助策の継続と拡充。
- ④ 家畜排泄物処理施設等の整備・補改修への支援対策の拡充。
- ⑤ 若者・女性の参入を促すために、その働き方改革に繋がる仕組み作りと支援対策の拡充を要請することが決議されました。

その後、大会決議に基づき自民党本部から日比谷公園までデモ行進をしました。

最後に早朝から参加されたした役職員の皆様には大変お疲れ様でした。



福島県酪農 青年研究連盟

第二回酪青連後継者支援研修会開催

平成三十年十二月五日(水)に酪青連第二回酪農後継者支援研修会(バーンミーティング・乳質改善研修会)が行われました。総勢六十二名が参加し、講師にはきくち酪農コ



ンサルティング株式会社代表取締役の菊池実先生を迎え、活気ある研修会となりました。

午前の部は矢吹町の円谷牧場にてバーンミーティングを

行いました。主に乳房炎の話を中心としたミーティングになり、活発な意見交換が行われました。

午後の部は母畑温泉八幡屋にて、「低カルと乳房のコントロール」という題で講演会が行われました。円谷牧場でのバーンミーティングでの指摘点をフィードバックするという形で講演会は進みました。

乳房炎の原因



には、ハード(ミルクカー、牛床)とソフト(栄養、搾乳手技)の二面が存在することを解説いただきました。また分娩後百日以内に乳房炎になると、生産率が低下するというお話もあり、常にハードとソフトに気を配って牛群管理をする必要があるとのことでした。また化膿症や外傷があ

る場合、牛の免疫にエネルギーを使うことになるので、基礎エネルギー消費は四〇%も上昇することです。こういったストレスも乳房炎の原因になるとのことです、いち早く免疫に使っているエネルギーを乳生産に回す必要があるとのことでした。

低カルシウム血症とは乳熱や第四胃変位など様々な周産期疾病の起因となるので、低カルによる経済的損失は計り知れないとのことでした。しかし、様々な病気に枝分かれする低カルも原因は高DCA・低Mg飼料にあるとのこととで、これらを解決できれば低カルによる様々な周産期疾病を防げると説明されました。

続いて低カルシウム血症の主な外貌の特徴を説明され、乳房が下がっている、わきが開いている、パンダ目、赤目

である牛には要注意とのことでした。

また、低カル予防の新たな方法として産前にカルシウム吸着剤を飼料に添加し、作為的にカルシウム吸収を阻害する飼料を給与するという研究論文の一部を紹介されました。この研究結果によると、カルシウム吸着剤を用いた群



の産後の低カル発症率がカルシウム吸着剤を用いていない群に比べ有意に低くなっておりました。これは産前にカルシウムを過剰に給与しないことにより、骨からのカルシウム動員を活性化させる効果があるということ、新たな産後の低カルシウム血症への対策を示唆されました。カルシウム吸着剤は現在北海道の一部のみでの販売が始まったということです。

菊池先生は乳房炎、低カルの話だけにとどまらず、様々な情報を紹介くださいました。

糖はデンブンに比べルーメンpHに影響を与えないということで、ルーメンアシドーシスを起こさないエネルギー源になると説明され、暑熱対策にも有効であるとのことでした。この話を受け、休憩時間に参加された方々が糖蜜導入の検討をお話される姿が見られました。

特に印象に残ったお話は、牛の排尿時間が五〜六秒であ

れば牛がじゅうぶんに水を飲んでるサインであるということ、参加された皆さんがこの話を持ち帰り、夕方の搾乳時に牛の排尿に耳を傾けたことと思います。

最後に酪農というものは常に科学を勉強することが重要であり、それは「基本に忠実になること」「原理原則に忠実になること」「牛に聞くこと」の三点を大切にすることでした。



福島県酪農業協同組合
生産部 購買畜産課

平成31年1月～3月の牛用飼料価格について

平成30年度第4四半期（平成31年1月～3月）の牛用飼料（配合・哺育）につきまして、下記のとおり価格改定を致しますのでご案内申し上げます。

記

改定額（平成30年10～12月期対比）

- (1) 牛用配合飼料 トン当たり 500円値上げ
- (2) 牛用哺育飼料 トン当たり 21,000円値上げ

原料情勢等につきましては、以下のとおりです。

主原料である米国産トウモロコシは、米国農務省の需給予想において2018年産の生産量は3億7,152万トン、単収は178.9ブッシェル/エーカー、総需要量3億8,178万トン、期末在庫4,524万トン、在庫率11.8%と発表され豊作の見通しですが、収穫時の悪天候による影響などからシカゴ相場は若干強含みで推移しています。

大豆粕については、米中貿易問題解決の期待が高まっていますが、米国産大豆の豊作に加えて南米でも豊作になる見通しから相場は弱含みで推移しています。

糟糠類については、グルテンフィード発生量が例年より少ないことで需給が引き締まっており強含みで推移しています。ふすまについては、粉価値上げ前の需要から挽砕量が増加傾向にあり、需給は緩和されつつあります。

脱脂粉乳については、豪州での干ばつの影響による生乳生産量の減少から供給余力がなく、強含みで推移しています。

海上運賃については、原油安による下落は底を打ち、今後需給が引き締まる見込みから強含みで推移しています。



全酪連の小窓 12月号 ~リニューアル配合の紹介~



いつもお世話になっております。年の瀬も迫ってきました。皆様にとって2018年はどんな年だったのでしょうか。2018年を振り返りつつ、また決意を新たに2019年を迎えましょう。

今回は福島県酪銘柄配合のリニューアルについてご案内致します。

お詫び申し上げます。

全酪連の小窓 12月号において、
コンフォートミックスとオートフィード
ミックスの写真が逆になってお
りました。

訂正したものを次ページに掲載
いたします。

大変失礼いたしました。

○コンフォートミックス (旧)



・カルシウムレベルをより強化し、さらに
オールインワン性を高めた処方に!!

○オートフィードミックス (平成30年12月~供給開始)



- ・成分値
CP16.5%、TDN74.5%
- ・エネルギーレベル、バランスの
改善(デンプン・油脂)
- ・ペレット強度の改善!
- ・アミノ酸バランスの改善!!



ポイント

- ・変更については利用者の皆様からの声も反映させ、より使いやすい配合飼料となるよう処方内容の調整を行いました。
- ・変更は最小限としており、これまで同様使用して頂ける内容となっております。変更についての問い合わせやご相談は、各支所、各指導所、全酪連福島スタッフまでご相談ください。



全酪連の小窓 12月号 ～リニューアル配合の紹介～



いつもお世話になっております。年の瀬も迫ってきました。皆様にとって2018年はどんな年だったのでしょうか。2018年を振り返りつつ、また決意を新たに2019年を迎えましょう。

今回は福島県酪銘柄配合のリニューアルについてご案内致します。

○コンフォートミックス (平成30年12月～供給開始)



- ・成分値 現行:CP15.0%、TDN71.0%
→**CP15.5%、TDN71.5%**
- ・ビート、綿実、ヘイキューブ処方割合維持
- ・ペレット強度の改善
- ・カルシウムレベルをより強化し、さらにオールインワン性を高めた処方に!!

○オートフィードミックス (平成30年12月～供給開始)



- ・成分値
CP16.5%、TDN74.5%
- ・エネルギーレベル、バランスの改善(デンプン・油脂)
- ・ペレット強度の改善!
- ・アミノ酸バランスの改善!!



ポイント

- ・変更については利用者の皆様からの声も反映させ、より使いやすい配合飼料となるよう処方内容の調整を行いました。
- ・変更は最小限としており、これまで同様使用して頂ける内容となっております。変更についての問い合わせやご相談は、各支所、各指導所、全酪連福島スタッフまでご相談ください。

ZENRAKUREN



ZENOAQ コーナー Vol.169



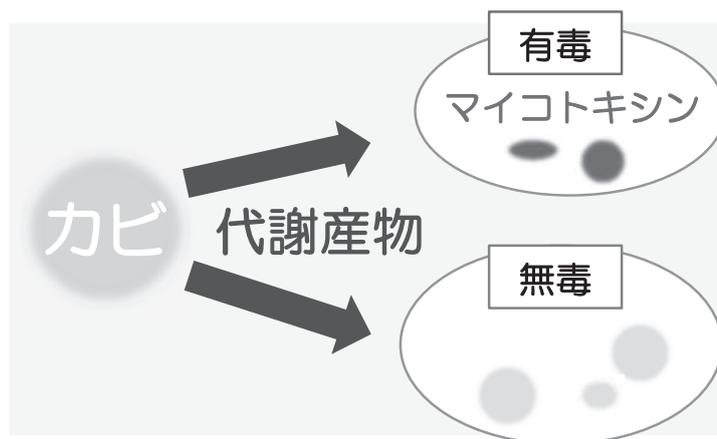
カビとマイコトキシンについて考えよう (続)

〒963-0196
 福島県郡山市安積町笹川字平の上1-1
 日本全薬工業(株) 福島営業所
 TEL024-945-2306 FAX024-945-9345

■冬場でも気をつけましょう

カビにも種類がたくさんあり、中には生体に悪影響を及ぼすマイコトキシン(カビ毒)を産生するものもいます。

～ 要注意 ～：カビている部分よりもカビていない部分に、高濃度のマイコトキシンが検出されます。



※カビが産生する代謝産物の内、毒性があるものをマイコトキシンと呼びます。

表：主なマイコトキシンと中毒症状

マイコトキシン	家畜に対する主な影響
アフラトキシン	肝障害など
デオキシニバレノール ニバレノール	消化器障害(嘔吐、食欲低下、下痢)、 免疫機能障害など
ゼアラレノン	外陰部肥大、流産など
フモニシン	白質脳軟化(馬)、肺水腫(豚)など

特に注意



〈出典 獣医衛生学より一部抜粋〉

検体名		ニパレノール (mg/kg)	デオキシニパレノール (mg/kg)	ゼアラレノン (mg/kg)	フモニシンB1 (mg/kg)	水分* %
コーンサイレージNo.1 H28	乾物	ND	ND	0.094	ND	
	現物	ND	ND	0.026	ND	71.9
コーンサイレージNo.2 H29	乾物	ND	ND	0.365	ND	
	現物	ND	ND	0.114	ND	68.7

H29年度のサイレージが高いコーンが倒れた状態での処理が要因のひとつであろう

2018.11 ゼノアック中央研究所検査結果より

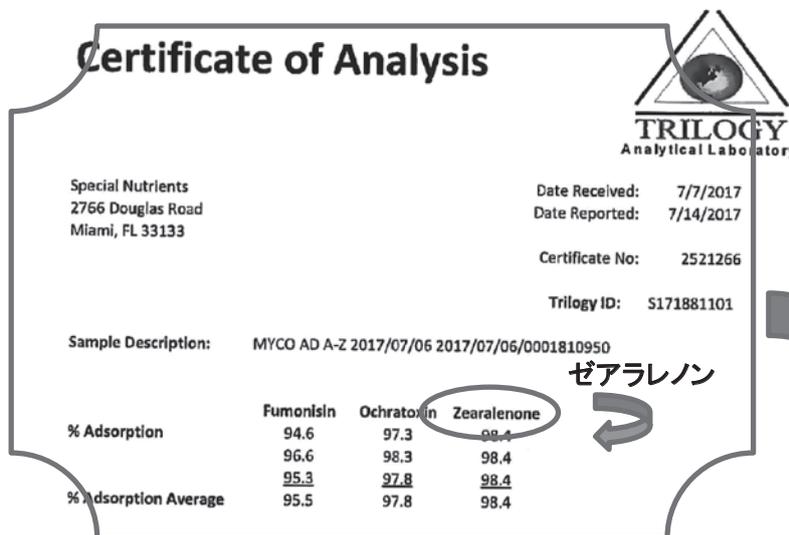
■参考〈マイコトキシンの関与が疑われる農場〉

マイコトキシンの関与が疑われる農場の臨床的特徴を以下に紹介致します。
マイコトキシンは目で見てわかるものではありませんが、高濃度に汚染された飼料を摂取し続けると牛群に対し悪影響を与えると考えられますのでご注意ください。

〈マイコトキシンの関与が疑われる農場の臨床的特徴〉

- ① 季節、年度により農場の疾病発生傾向が大きく変化する
- ② 軟便、泥状便が多い
- ③ 飼料の嗜好性が悪く、BCSの低い牛が多い
- ④ リピートブリーダーの多発、外陰部の腫脹、流早産の発生
- ⑤ 治療薬剤に対する反応性が悪い

出典 2007年6月号・臨床獣医より一部抜粋 特集「マイコトキシンは今」NOSAI山形・和田先生



確かなことをお伝えします

A飼料 カビ毒吸着材

アルミノ珪酸ナトリウム・カルシウム

マイコ-AD A-Z

特長

- ① 高純度精製粘土です。
- ② 弱アルカリ性粘土です。
- ③ 親油性粘土です。
- ④ 第三者機関における品質検査を行っております。
- ⑤ ビタミン・ミネラルを吸着しません。



【包装】25kgクラフト袋

乳牛頭数調査集計表（公共機関を含む）

2018年11月30日現在

区 分	酪農家戸数			乳 牛 頭 数										
	支 所 名 称	戸数 (避難戸数)	前年度 戸 数	前年比	育成	初妊	経 産 牛				合計	前年度 頭 数	前年比	1 戸 当 り頭数
							乾乳 妊娠	妊娠 搾乳	空胎 搾乳	小計				
県 北 支 所	(7)40	41	97.6	%	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	%	頭
県 中 支 所	81	86	94.2		534	121	181	384	964	1,529	2,184	2,164	100.9	54.6
浜 支 所	(34)10	10	100.0		349	93	196	349	962	1,507	1,949	1,981	98.4	24.1
県 南 支 所	45	49	91.8		87	34	19	43	146	208	329	327	100.6	32.9
JAふくしま未来(飯館)	(11)0	0	0.0		601	235	276	567	1,053	1,896	2,732	2,932	93.2	60.7
県 酪 合 計	(52)176	186	94.6		1,571	483	672	1,343	3,125	5,140	7,194	7,404	97.2	40.9

区 分	月 別 分 娩 予 定 頭 数							販 売 乳 量				
	支 所 名 称	2018	2019	2019	2019	2019	2019	生乳 出荷 戸数	地域別販売乳量		1日1頭当り乳量	
		12月	1月	2月	3月	4月	5月		6月	1日当り	1日1戸 当り	搾乳牛
県 北 支 所	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	戸	kg	kg	kg	kg
県 北 支 所	110	110	87	71	64	75	169	38	35,409	932	26.3	23.2
県 中 支 所	107	122	96	98	68	61	86	81	30,878	381	23.6	20.5
浜 支 所	18	18	7	13	9	16	15	8	5,302	663	28.1	25.5
県 南 支 所	134	156	144	147	141	125	231	45	41,396	920	25.6	21.8
JAふくしま未来(飯館)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
県 酪 合 計	369	406	334	329	282	277	501	172	112,983	657	25.3	22.0

平成30年度受託乳量の状況

平成30年11月の受託乳量は、県全体で前年比92.1%の実績でありました。

団体別の受託乳量は、本組合が3,385トﾝ、前年比93.1%（対前年同月252トﾝ減）、全農県本部は1,652トﾝの対前年比90.3%（対前年同月178トﾝ減）の実績でありました。東北生乳販連の受託実績については、

前年比96.9%となりました。

東北6県の中で青森県が5,514トﾝ、対前年比110.8%で前年より伸びました。

なお、全国の受託実績は北海道の乳量が先月と比べ回復し対前年比99.4%となりました。（北海道：101.0%、都府県97.5%）

平成30年度用途別販売乳量の状況（東北全体）

11月東北全体の用途別販売状況については、加工向けが107.5%、学乳向けが102.5%と前年を上回り、飲用向けが96.2%、醗酵乳向けが96.4%、生クリーム向けが前年比88.7%、チーズ向けが86.4%と前年

を下回り推移した。

なお、今月の酪王乳業の生乳使用量は日量平均52.1トﾝ（前年比103%）で、本組合生産量の46.1%、県全体生産量の31.0%を処理しています。

平成30年度11月別支払乳価表

11月分支払乳価については、前年と比べ、飲用向け及び醗酵乳向け・加工向け・生クリーム等向け価格は据え置き、チーズ（ハード）向け4円、チーズ（ソフト）向け5円値上げで取引され、前年対比でプール乳価、補給金、集送乳調整金単価合せて前年より0円181銭上回る単価となりました。

■東北全体プール乳代金 4,060,035千円 単価107.644円
 ■内 福島県分プール乳代金① 463,174千円 単価107.644円
 プール対象外乳代金② 102,243千円
 （学乳向け・買取向け乳代金）

合計乳代金①+② 565,417千円 単価 112.243円

項目	30年11月	前年同月	増減	前々年同月
プール乳価	106円423	106円263	0円160	105円673
補給金単価	0円587	0円739	-0円152	0円844
集送乳調整金単価	0円173	0	0円173	0
合計	107円183	107円002	0円181	106円517

(注)上記合計は、脂肪率3.5%・無脂固形率8.3%の補給金込みの乳価。

平成30年4月より加工原料乳(加工・生クリーム・チーズ向)に対し、補給金と集送乳調整金の2つに分け支払いをしています。

(東北全体11月)

用途別	販売乳量(トン)	日量(トン)	前年比(%)	シェア(%)
飲用向け	28,810	960.0	96.2	71.0
加工向け	1,882	63.0	107.5	4.6
学校給食向け	2,886	96.0	102.5	7.1
醗酵乳向け	5,986	200.0	96.4	14.7
生クリーム向け	846	28.0	88.7	2.1
チーズ向け	193	6.0	86.4	0.5
合計	40,603	1,353.0	96.9	100.0

備考

1) 買取乳量を除く

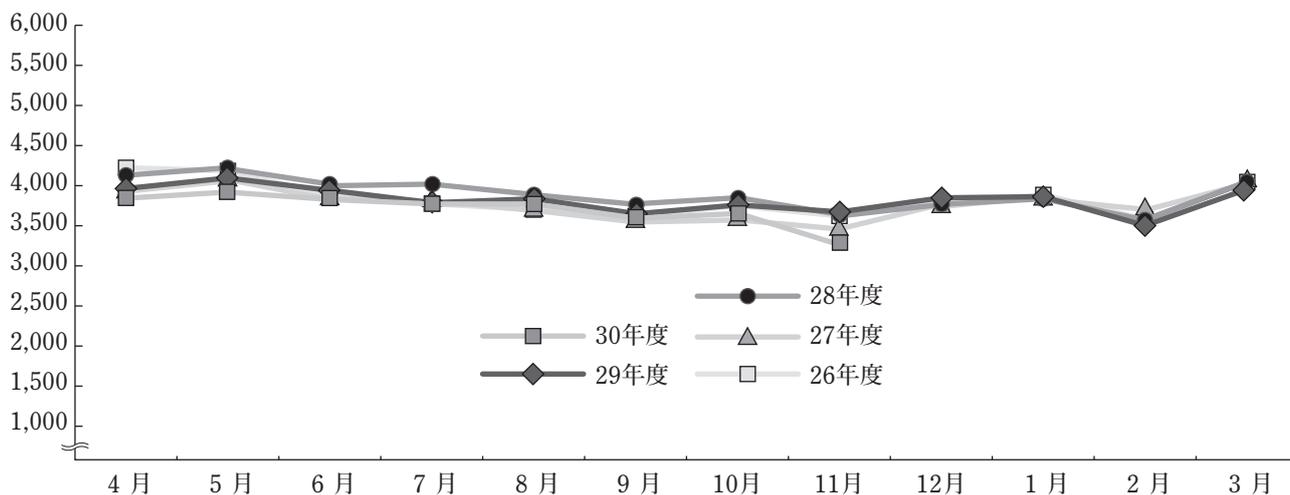
団体別受託乳量の状況

団体名	11月分		
	受託乳量(トン)	日量(トン)	前年比(%)
県酪協	3,385	112.8	93.1
全農福島県本部	1,652	55.1	90.3
合計	5,037	167.9	92.1
東北生乳販連	40,604	1,353.5	96.9
全 国	553,361	19,064.4	99.4

月別受託乳量 県酪協 (トン)

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
26年度	4,148	4,185	3,879	3,775	3,703	3,621	3,749	3,620	3,781	3,886	3,577	4,035	45,959
27年度	3,921	4,061	3,836	3,802	3,658	3,513	3,575	3,486	3,668	3,830	3,708	4,071	45,129
28年度	4,094	4,231	4,025	4,029	3,894	3,717	3,839	3,664	3,822	3,889	3,576	4,031	46,811
29年度	3,958	4,132	3,940	3,880	3,778	3,622	3,740	3,637	3,797	3,820	3,498	3,948	45,750
30年度	3,865	3,927	3,768	3,758	3,757	3,565	3,617	3,385					
前年比%	97.7	95.0	95.6	96.9	99.4	98.4	96.7	93.1					

単位・トン



年次別・月別支払乳価一覧（補給金・集送乳調整金を含む）

年 度	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	平均
30年度	105.316	106.566	107.245	106.734	104.684	108.041	107.673	107.183					
29年度	105.107	106.247	107.367	106.918	104.637	107.789	107.187	107.002	104.876	105.603	106.317	104.647	106.141
28年度	105.156	106.012	106.878	105.825	104.876	107.459	107.162	106.517	104.921	105.823	106.675	104.617	105.993
27年度	105.116	105.882	106.888	105.964	105.240	107.090	107.342	106.859	105.204	105.468	106.726	104.446	106.019
26年度	100.739	102.193	103.829	102.826	101.978	104.278	104.043	104.000	102.000	102.606	103.222	101.321	102.753

第278回 県酪協乳牛市場成績

平成30年12月14日開催

購買者数 27名（うち県外7名）

区分	畜種	雌雄	成立数 (成立率)	最高価格 最低価格	平均価格 (前回比)	平均体重 (前回比)	平均単価 (前回比)	
ET和牛 初生牛	ET和牛	メス	4 (100)	496,000 359,000	419,500 (92)	102 (106)	4,103 (87)	
		雄	23 (96)	635,000 371,000	574,130 (104)	108 (104)	5,314 (100)	
	乳 牛	メス	3 (100)	55,000 15,000	39,000 (3,900)	67 (168)	582 (2,328)	
		雄	76 (100)	191,000 1,000	129,553 (85)	74 (103)	1,758 (83)	
	交雑牛	メス	57 (98)	278,000 100,000	236,175 (105)	73 (100)	3,241 (105)	
		雄	65 (100)	381,000 102,000	316,277 (103)	78 (101)	3,547 (89)	
	初 妊 牛			19 (100)	924,000 436,000	744,632 (90)		
	搾乳用雌子牛			13 (100)	339,000 261,000	298,231 (82)		

価格：円（落札価格） 率・比：％ 体重：kg

初生牛の畜種別価格帯毎分布表

（0は0.1～0.9万円、1は1.0～1.9万円、以下同様。尚、落札価格です）

畜種	雌雄	価 格 帯 (万円)																								
		<38	39	~	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63
ET和牛	メス	1	1		1							1														
	雄	3													2	2	2		2			1	1	5	4	2
畜種	雌雄	価 格 帯 (万円)																								
		0<	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
乳 牛	メス		1			1	1																			
	雄	4	2	3			3	1	2	4	3		2	2	2	8	8	10	12	9	1					
畜種	雌雄	価 格 帯 (万円)																								
		<14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38
交雑牛	メス	4	2	1		2	3		2	2	7	4	7	15	9											
	雄	1								1	1	1	1	1	1	1	3	5	14	17	7	2	1	1	6	1

初妊牛・搾乳用雌子牛の価格帯別分布表

価格帯 (万円)	<50	51	~	56	~	60	~	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92
初妊牛	1	2		1		1		2	1	1				2	2	2	1			1	1				1
価格帯 (万円)	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33
搾乳用雌子牛																	2	3		1	2	1	2	2	

組 合 の 動 き 12 月

12月3日	第7回理事会	12月25日	福島県農業会議常設審議委員会
12月6日	福島県獣医師会理事会	12月27日	第9回経営検討会
12月14日	セリ市場	12月28日	御用納め
12月21日	第10回酪王乳業取締役会		

理 事 会

第7回 12月3日

議 案

報 告 事 項

- 議案第1号** 平成30年度第2四半期事業実績報告及び部門別損益報告並びに定期監査報告について
- 議案第2号** 平成30年度年末手当の支給について
- 議案第3号** 家族経営安定資金の貸付について

- 1) 子会社の平成30年度第2四半期事業報告について
- 2) 平成30年度第2四半期経営検討農家の現状について
- 3) 復興牧場の進捗状況について
- 4) 今後の日程について

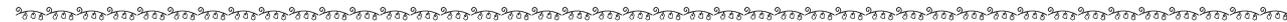


平成30年度 牛乳・乳製品利用料理コンクール 福島県大会入賞レシピ



カフェオレゆべし

福島東稜高等学校
若林 歌音さんの作品



●●● 材 料 ●●●

(材料:4人分)

- ・白玉粉 …………… 200g
- ・砂糖 …………… 100g
- ・酪王カフェオレ …… 200ml
- ・片栗粉 …………… 適量
- ・小麦粉 …………… 15g
- ・砂糖 …………… 50g
- ・卵 …………… 1個
- ・牛乳 …………… 200ml
- ・バニラエッセンス …… 少々
- ・チョコクランチ …… 適量
- ・いちご …………… 適量
- ・クリームチーズ …… 40g

●作り方

- ① 小麦粉と砂糖を泡立て器で軽く混ぜ、卵を加えてなめらかになるまで混ぜる。
- ② 牛乳を少しずつ加えながら混ぜる。
- ③ レンジで2分半過熱して1度よく混ぜ、さらに2分加熱してなめらかになるまでよく混ぜる。
- ④ バニラエッセンスを加えて氷水で冷やす。
- ⑤ 白玉粉は固まりをつぶしておく。
- ⑥ 砂糖を加えて軽く混ぜ、少しずつカフェオレを加えながらよく混ぜる。
- ⑦ レンジで1分半加熱して1度よく混ぜ、さらに

1分半加熱してよく混ぜる。

- ⑧ 生地を伸ばして8等分に切りわけ。
- ⑨ 切った生地にカスタード・クリームチーズ・いちごをのせて生地の角に水をつけ、4つの角を合わせるように包む。
- ⑩ 飾りにチョコクランチをふりかける。

ポイント

福島の酪王牛乳のカフェオレと東北発祥のゆべしを組み合わせました。



『ほっとMilk』投稿募集について

1. テーマは自由 (ほっと(^o^))する話題がいいですね)
 - ◎文章だけでも結構です。
 - ◎写真があると最高です。
2. 受付 (常時受け付けています)
 - メール・FAX・支所経由・直接持参、何でもOKです。
 - E-mail : yuuki-saitou@fukuraku.or.jp・FAX0243-33-1103

発行者 福島県酪農業協同組合 発行責任者 常務理事 岡 正宏

〒969-1103 福島県本宮市仁井田字一里壇17番地 TEL 0243-33-1101 FAX 0243-33-1103 URL <http://www.milk.fukushima.jp>